

高知ろう学校で防災授業を実施

～ 子どもたちの防災意識を高め、いざという時に備えよう ～

日本損害保険協会四国支部高知損保会（会長：海野 雅敬・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、高知支店長）では、昨年度損保協会などが主催する「ぼうさい探検隊マップコンクール」でデジタルマップ特別賞を受賞した高知ろう学校で、11月13日(月)に防災授業を実施しました。

当日は、当支部の及川事務局長が昨年度防災マップを作成した生徒2名と新たな生徒1名の3名を対象に、作成した防災マップの良いところ、改善できるところを他団体のマップを用いて説明しました。また、いつ起きるか分からない災害時に役立つよう、新聞紙で簡単に作れるスリッパを実際に作りました。

防災マップについては、「危険なポイントを書いたほうがいざという時の備えになる」、「人から教えてもらったことを地図に追加したい」といった発言がありました。

新聞紙で作ったスリッパは履いていない時との違いを感じて、「履きなれないけど、何もないと危険なのであったら便利」といった感想がありました。

生徒たちは耳が不自由ななか、説明を一生懸命聞いて楽しく授業を受けていただきました。

当支部では、引続き若年層からの防災教育を推進し、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進して参ります。



授業の様子



昨年度作成した防災マップ